



第 63 代理事長 綱木 隆太郎

昨年 4 月に就任から早くも月日が過ぎ、この度 63 代理事長を任期満了にて退任させて頂く事になりました。

不安も持ちつつのスタートでしたが、皆様のご協力の元、この一年全う出来たことを心より御礼申し上げます。

この大恩ある大阪菓業青年クラブに恩返しをと……私の経験を若手に伝えたいと……就任時にご挨拶させて頂きましたが、私自身、理事長としてどうあるべきかどう行動すべきかと、絶えず自問自答しながらの日々でした。果たしてどこまで恩を返せたのか、どこまで若手に届いたのか、正直、役不足であったかもしれません。

また、様々な事業を役員と共に企画いたしました、至らぬ点等あったと思います。改めて、この場をお借りしお詫び申し上げます。

加速度を増し続ける時代の変化の中、この大阪菓業青年クラブも変革の時を迎えていると思います。目前にある様々な諸問題をその場しのぎではなく、根本的に見直す事こそ今後の歴史に繋がると思っています。この素晴らしい青年クラブが今後も素晴らしい場所であるために、「何をすべきか」、「どう変化すべきか」、捉え方次第でそれは更なる発展に繋がってくるものだと思います。

そして、現役会員の若手の皆様、様々なツールや情報社会の発展により、コミュニケーションのあり方も変わってきていますが、どうか人との繋がりをもっと深く考えて欲しいです。一見、無駄に見えがちな人との関わりも後になれば必ず意味を成してきます。この大阪菓業青年クラブこそその素晴らしい場だと思います。様々や事業に参加し、企画する過程で多くの経験が生まれ、仲間が出来、それが必ず自己研鑽となり生活や社業に影響してきます。

どうか、より積極的に仲間作りに励んでください。

20 数年前、このクラブに入会し、未だ未熟では御座いますが、多くの事を学びました。そして理事長という大任を与えて頂き大きな経験を頂き、本当に私は恵まれていたと思います。

理事長にさせて頂き本当に良かったです。ありがとうございました。

最後になりますが、この理事長という大任を全うできたのも、ひとえに役員の皆様、そして先輩方々、クラブ員の皆様のご援助とご協力だと感謝いたしております。

改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

当クラブの、皆様のご発展を祈念いたしまして、退任のあいさつと代えさせて頂きます。

大阪菓業青年クラブ 第 63 代理事長 綱木隆太郎